

# 耐震診断評定 申請図書作成要領

## — 目次 —

1. 申請図書の体裁	1
2. 申請図書の構成	1
3. 準拠した耐震診断の方法	1
4. 申請図書の構成例	2



一般財団法人**日本建築センター**  
The Building Center of Japan

---

既存建築物技術審査部

## 1. 申請図書の体裁

- (1) 申請図書は、A4判ファイル（両面印刷可）としてください。  
 図面等で、A3判になるものは、折り込んでください。
- ・ 図面及び電算プログラムのアウトプットは、文字・寸法等が読み取れる書類を添付してください。
  - ・ 各検討書は、検討の目的と算定結果を示し、また、検討箇所の詳細図等を用いて、どの部位等の検討を実施しているのか分かり易く構成してください。  
 また、引用した基準や算定式に用いる記号の凡例及び単位を記載してください。
  - ・ 申請図書の書類は、整合性を取ってください。
- (2) 表紙及び背表紙には、以下の事項を記載してください。
- ① 建築物等の名称
  - ② 評定業務の区分（耐震診断・耐震改修計画・耐震診断及び耐震改修計画）
  - ③ 申請年月日
  - ④ 申請者

## 2. 申請図書の構成

以下は、評定区分に応じた申請図書の構成例です。

評定区分	§ 1 建築物等の 概要	§ 2 建築物等の 調査結果概要	§ 3 現況建築物の 耐震診断	§ 4 耐震改修計画	§ 5 参考資料 (報告書等)
耐震診断	○ (1-8~10 不要)	○	○ (RC・S) ※	—	○
耐震改修計画	○	○	—	○	○
耐震診断及び 耐震改修計画	○	○	○ (RC・S) ※	○	○

※RC造はP5、S造はP6を参照ください。

## 3. 準拠した耐震診断の方法

以下の指針等の調査及び検討内容等をご理解の上、申請図書作成の参考としてください。

建築物の耐震改修の促進に関する法律に規定される耐震診断の方法
2001年改訂版 既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・改修設計指針／(財)日本建築防災協会
2017年改訂版 既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・改修設計指針／(財)日本建築防災協会
2011年改訂版 耐震改修促進法のための既存鉄骨造建築物の耐震診断指針／(財)日本建築防災協会
2009年改訂版 既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・改修設計指針／(財)日本建築防災協会
官庁施設の総合耐震診断・改修基準／(財)建築保全センター
屋内運動場等の耐震性能診断基準（平成18年版）／文部科学省大臣官房文教施設企画部
既存壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断指針／(財)日本建築防災協会

## 4. 申請図書の構成例

### 目次

- ・目次は、対応する本文ページを記載してください。
- ・ページ番号は、差し替え等が容易になるようセクションごとに付けてください。  
(例) 1-1、1-2、1-3…、2-1、2-2、2-3…、3-1、3-2、3-3…

### § 0. 耐震診断評定申請書等

#### (1) 耐震診断評定申請書 (写し)

#### (2) 別表

構造種別に応じた別表をご使用ください。

別表は、申請図書本文の概要を記載してください。

- ◆別表 (耐震診断の概要 (RC 造・SRC 造))
- ◆別表 (耐震改修計画の概要 (RC 造・SRC 造))
- ◆別表 (耐震診断の概要 (S 造))
- ◆別表 (耐震改修計画の概要 (S 造))

- ・耐震診断及び耐震改修計画の場合は、「別表 (耐震改修計画の概要)」をご使用ください。
- ・SRC 造の場合は、RC 造の別表を準用していますので、必要項目を追加してご使用ください。
- ・別途、「申請時における診断方針及び総合所見、別表の記載について」を用意しております。  
ご連絡いただければ、E-mail にてデータを送信させていただきます。
- ・別表は、評定完了後、評定報告書の一部として利用します。

### § 1. 建築物等の概要

#### 1-1 一般事項

- 建築物の名称等 (建築物の名称、所在地、用途等、所有者、設計者及び設計年月日、施工者及び施工年月日等)
- 規模等 (構造種別、構造形式、軒高及び最高高さ、建築面積、延床面積、基礎形式、支持層、スパン、主な仕上げ等)
- 設計図書の有無 (意匠図、構造図、構造計算書、地盤調査書、確認済証、検査済証等)
- 経歴等 (被災の有無、東北地方太平洋沖地震等の被害の状況等)
- 診断者 (診断者の所属企業及び氏名、登録資格者講習の種類、講習実施機関名、証明番号及び講習修了年月日を明示してください。)
- その他、必要事項を記載してください。

#### 1-2 現況建築物概要図

- 案内図、配置図、平面図、立面図、断面図等
  - ・配置図は、評定対象の建築物の周辺の敷地状況及び隣接建築物の状況等が分かる図面としてください。敷地内に複数棟ある場合は評定対象を明示してください。

#### 1-3 外観・内観写真

- ・外観写真は、建築物全体が分かる各方向からのカラー写真としてください。
- ・内観写真は、建築物内部の特徴的な箇所 (吹抜け、階段、天井、設備等) が分かるカラー写真としてください。

#### 1-4 建築物の特徴

- 避難所指定の有無、平面形状の特徴、下階壁抜け、柱フープピッチ等

### 1-5 意匠図（現況）

- 各階平面図、立面図、断面図等
- ・どの時点の図面か（確認申請時、現場調査後の復元図等）記載してください。

### 1-6 構造図（現況）

- 地盤概要、基礎伏図、各階伏図、軸組図、断面リスト（柱・梁・壁・基礎）、詳細図等
- ・どの時点の図面か（確認申請時、現場調査後の復元図等）記載してください。
- ・RC造の軸組図は、X・Y方向とも全通りとし、耐震壁の位置、開口のサイズを記載してください。また、耐震壁の配筋、開口補強筋等を記載してください。
- ・S造の軸組図は、X・Y方向とも全通りとし、ブレース等の位置を記載してください。

### 1-7 その他

- 耐震診断に必要な図面
- ・Exp. J、現況躯体との取合い等

**耐震改修計画の場合は、下記 1-8～1-10 の資料が必要になります。**

### 1-8 意匠図（改修後）

- 各階平面図、立面図、断面図等
- ・改修箇所・改修内容を分かり易く明示してください。

### 1-9 構造図（改修後）

- 基礎伏図、各階伏図、軸組図、断面リスト（柱・梁・壁・基礎）
- ・改修箇所・改修内容を分かり易く明示してください（提出は、補強図面だけでも結構です）。
- ・現況図と改修図は別々に作成し、図面の右上に現況図か改修図かを明示してください。
- ・RC造の軸組図は、X・Y方向とも全通りとし、耐震壁の位置、開口のサイズを記載してください。また、耐震壁の配筋、開口補強筋等を記載してください。
- ・S造の軸組図は、X・Y方向ともに全通りとし、補強ブレース等の位置を記載してください。

### 1-10 改修方法要領図

- 改修内容に係る構造特記仕様書
- 全ての改修方法、補強箇所を伏図、軸組図に記載
- 改修詳細図（実施設計図に相当する内容）
- ・現況躯体と補強部材との接合詳細図
- ・Exp. J の改修図
- ・鉄骨部材リスト及び接合詳細（基礎増打補強部、柱頭・柱脚部、頬杖補強部、鉄骨部材の溶接方法及び位置等を含む）
- ・あと施工アンカーボルトの間隔及び定着長さ
- 現況部材撤去図
- ・撤去する部材（庇、パラペット、階段等）を伏図及び軸組図に記載

## § 2. 建築物等の調査結果概要

### 2-1 調査概要

- 調査項目及び調査目的
- 予備調査
  - ・建築物概要、規模、部材寸法等調査、使用状況調査、基礎・地盤状況調査、仕上げ材劣化状況調査、被災歴
- その他
  - ・使用材料及び種別、基礎の調査結果、Exp. J の状況等

### 2-2 診断調査結果及び細部写真

- 写真は平面図、伏図・軸組図等を用い、どの箇所を撮影したのか分かるようにし、各写真毎に「調査内容・測定値・調査所見」を記載してください。
- 外観・内観写真等、特徴的な箇所が分かるようなカラー写真としてください。
- 特に経年指標に係る調査内容（原設計図書との相違箇所、躯体ひび割れ調査結果、変形、変質、不同沈下、老朽化状況、Exp. J の状況等）

#### <鉄筋コンクリート部材等調査結果>

- 躯体寸法
- 柱・梁断面の配筋調査
- 躯体ひび割れ調査
- コンクリート強度試験結果
- コンクリート中性化深さ
- 鉄筋腐食状況等

#### <鉄骨部材調査結果>

- 既存鉄骨造建築物の耐震診断及び耐震改修指針・同解説等で掲載している実態調査用紙を用い調査結果をまとめてください。また、伏軸図等を用い調査箇所及び設計図書と異なる部分を明確にしてください。
  - ・主な調査箇所
    - 柱-梁接合部、頭部、桁梁接合部、つなぎ梁接合部、鉛直ブレース、水平ブレース接合部、柱脚部等
- 軸組・部材寸法調査
  - ・建築物のスパン数、柱間隔及び柱、梁、軸組筋違い等の原設計図書との整合
  - ・母材の厚さ・寸法、ガセットプレート・ベースプレート厚さ・寸法等の設計図書との整合
- 接合部調査
  - ・溶接接合（梁端フランジ溶接部、溶接種別の状況（完全溶込溶接、隅肉溶接等）、ボルトの出、脚長、のど厚、UT 検査の結果、スカラップの有無等）
  - ・ボルト接合（ボルトの種類、径、本数、ピッチ等）
  - ・ダイアフラムの有無
  - ・柱脚の形状、寸法及び基礎との接合状況（アンカーボルト径・定着状況）等調査結果
  - ・部材発錆状況、腐食状況等
- UT 調査結果の抜粋

＜非構造部材等調査結果（調査していない場合は理由を記載してください）＞

- コンクリートブロック壁（配筋状況、定着状況）
- 設備機器等
  - ・高架水槽、クーリングタワー（アンカーボルトの状況）
  - ・屋上煙突（配筋状況）
  - ・広告塔
- 天井の接合金物等
- 屋外階段
- その他の非構造部材等

＜その他の調査＞

- 基礎の調査結果、建築物等不同沈下調査結果等
- Exp. J の実測調査結果及び離隔距離
- 耐震改修計画において必要な調査

2-3 調査結果の考察

- 設計図書との整合性、施工不具合の有無等、耐力上影響のある項目等について分かり易くまとめてください。
- 設計図書と異なる箇所がある場合は一覧表を作成してください。

**RC 造の場合は、以下の目次を参照してください**

§ 3. 現況建築物の耐震診断

3-1 診断方針

- ・準拠した基準（〇〇年版）、診断次数等を記載してください。
- ・現地調査結果を耐震診断にどのように反映したか、現地調査結果と設計図書との不整合、施工不具合個所の扱いについても記載してください。
- 構造概要（構造的特徴、架構形式等）
- 判定方法（目標値（ $I_s$ 、 $C_{TU}$ ・ $S_D$  値）、診断次数、重要度係数等）
- 診断プログラム
- 診断採用強度の設定
- 平面形状等に応じて採用したゾーニングの方法
- 外力分布（ $A_i$  分布等）及び形状指標（ $F_{es}$  等）の設定
- 部材の剛性、袖壁・雑壁の耐力の採否等々の考え方
- 塔屋、地下階、又は、片土圧に対する耐震診断への考慮
- 変動軸力の考慮
- その他、耐震診断において前提としたモデル化の内容等

3-2 準備計算等

- 材料強度（診断の計算に採用した数値）
  - ・コンクリート強度（調査結果に基づいて建築物等調査結果概要に記載したコンクリート強度との関係についても記載）
  - ・鉄筋（材種）
- 仮定荷重（荷重表、床荷重表、積載荷重表）及び地震力の算定（総重量を延べ面積で割った数値。必要に応じ、階別の数値に関する資料を添付）
- 長期柱軸力の算定（電算プログラムのアウトプット等）

### 3-3 形状指標の算定

- 平断面形状、平断面剛性を考慮した形状指標の算定根拠
- 重心・剛心図等

### 3-4 経年指標の評価

- ・既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準、既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準にある経年指標を添付してください。
- 構造ひび割れ、変形、変質及び老朽化等を考慮した経年指標の算定根拠

### 3-5 現況の各方向の主な架構の耐震性能算定

- 耐震診断計算結果表を添付 X・Y方向（正負荷力）
- 累積-C<sub>T</sub>・F グラフ
- 破壊モード図（耐力に考慮した方立壁や雑壁も分かる様にしてください）
- 第2種構造要素の検討、下階壁抜け柱の検討、耐震壁につながる境界梁の検討等
- 片持ち梁又は片持ちスラブの検討
- 塔屋の検討

### 3-6 現況の診断結果の考察

- 現況建築物等の耐震診断結果
  - ・丸柱、段差梁、斜め部材をどのように扱ったか等
- 現況診断結果の考察を簡潔に記載

### 3-7 その他の検討

- 非構造部材（コンクリートブロック帳壁、高架水槽等）の検討等
- 液状化に対する考慮（行政庁が公開している液状化マップ等（想定する地震動が分かるもの）を添付し、液状化に対する考慮について記載してください）

## S 造の場合は、以下の目次を参照してください

### § 3. 現況建築物の耐震診断

#### 3-1 診断方針

- ・準拠した基準（〇〇年版）を記載してください。
- ・現地調査結果を耐震診断にどのように反映したか、現地調査結果と設計図書との不整合、施工不具合個所の扱いについても記載してください。
- 平面形状等に応じて採用したゾーニングの方法
- 剛性評価（F<sub>es</sub>による評価等）
- 保有水平耐力算定法（保有水平耐力の算定に用いる解析方法）
- 接合部の強度として採用した数値（UT 試験結果の評価、溶接部の評価等）
- 部材及び接合部の耐力評価の方法

#### 3-2 準備計算等

- 材料強度（診断の計算に採用した数値）
- 仮定荷重（荷重表、床荷重表、積載荷重表）及び地震力の算定（総重量を延べ面積で割った数値。必要に応じ、階別の数値に関する資料を添付）
- 長期柱軸力の算定（電算プログラムのアウトプット等）

### 3-3 偏心率及び剛性率の評価

- 偏心率及び剛性率の算定根拠、重心・剛心図等

### 3-4 部材の耐力表

- ・架構部材の断面性能について採用した指針に基づいた必要な資料を提出してください。
- ラーメン構造  
柱・大梁の断面性能、大梁の曲げ終局耐力、柱の曲げ終局耐力、パネルゾーン耐力、柱継手部溶接強度、大梁継手耐力、柱脚耐力、基礎の転倒抵抗モーメント
- ブレース構造  
鉛直ブレース、梁の検討、柱の検討、ブレース架構の保有水平耐力

### 3-5 部材耐力図

- 部材耐力図
- 長期応力図（大スパンの場合）
- 終局メカニズム時応力図（ヒンジ箇所も記載してください。）

### 3-6 靱性指標

- 構造耐震指標（ $I_s$  値）を算定する際の靱性指標（ $F$  値）の算定根拠

### 3-7 屋根面架構の水平力伝達の検討

- 屋根面ブレースの部材及び接合部耐力（検討に用いた荷重）
- 屋根面の水平伝達の検討
- その他、屋根面に必要な検討を示してください。

### 3-8 耐震診断指標・保有水平耐力の算出結果

- 耐震診断指標（ $I_s$  値）・保有水平耐力に係わる指標（ $q$  値）の算定根拠

### 3-9 現況の診断結果の考察

- 現況建築物等の耐震診断結果
- 現況診断結果の考察を簡潔に記載

### 3-10 その他の検討

- 片持ち梁・片持ちスラブの検討
- 非構造部材（コンクリートブロック帳壁、高架水槽等）の検討等
- 液状化に対する考慮（行政庁が公開している液状化マップ等（想定する地震動が分かるもの）を添付し、液状化に対する考慮について記載してください）

## 以下、RC造・S造 共通

## § 4. 耐震改修計画

### 4-1 改修方針

- 準拠した基準（〇〇年版）、診断次数等を記載してください。
- 改修した建物の改修方針（改修後）、改修方法
  - ・改修が必要とされた内容に対応し、具体的な改修内容を記載し、耐震性能判定指標を上回っていることを記載してください。
- 必要改修量の算定及び位置（改修計画図）等を記載
- 片持ち梁・片持ちスラブ、塔屋、非構造部材、補強部材の取り扱い等

#### 4-2 改修後の各方向の主な架構の耐震性能算定

- 「§ 3 現況建築物の耐震診断」の目次を参照ください。
- 改修部位・接合部のディテール等を用いて、算出根拠を分かり易くしてください。

#### 4-3 改修部材の耐力算定等

改修方針に基づき、以下の項目に該当する資料をまとめてください。

- 新設枠付ブレース等の終局耐力算定
- あと施工アンカーボルト（間隔及び定着長さ）及びスタッドの耐力算定
- 新設補強ブレース架構等の終局耐力
- 構造スリットの検討（位置及び深さの詳細等）
- Exp. J の検討
- その他、補強部材等の耐力算定

#### 4-4 改修後の診断結果の考察

- 現況建築物等の耐震診断結果
- 現状診断結果の考察を簡潔に記載
- 改修が必要とされた内容に対応し、具体的な改修内容を記載し、耐震性能判定指標を上回っていることを記載してください。やむを得ず、改修ができない部分（Exp. J の間隔等）がある場合は、大地震時における影響を記載してください。

#### 4-5 その他の検討

- 非構造部材（コンクリートブロック帳壁、高架水槽等）の検討等
- 液状化に対する考慮（行政庁が公開している液状化マップ等（想定する地震動が分かるもの）を添付し、液状化に対する考慮について記載してください）

### 5. 参考資料

#### 5-1 評定書及び評定報告書等

- 耐震診断に係る耐震診断評定を過去に受けた場合には、評定書及び評定報告書等を添付してください。

#### 5-2 技術評価書等

- 耐震補強工法等について第三者機関の評価を取得した証明書及び仕様書等  
（一財）日本建築センターの建設技術審査証明書  
（一財）日本建築防災協会の評価書 等

#### 5-3 調査報告書

- その他の調査報告書及び耐震診断評定に必要な資料  
・液状化マップ、ボーリング柱状図等

### 6. 指摘事項回答書

#### 6-1 委員会における指摘事項回答書

#### 6-2 部会における指摘事項回答書

#### 6-3 追加検討資料



一般財団法人**日本建築センター**  
The Building Center of Japan

●事前相談・お申込みのご連絡は、下記までお願いします。

一般財団法人 日本建築センター  
既存建築物技術審査部（略称：既存審査部）  
技術審査課

〒101-8986 東京都千代田区神田錦町 1-9

TEL : 03-5283-0468  
E-mail : kison@bcj.or.jp